



2026年1月30日

各 位

会社名 株式会社イオレ
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 瀧野 諭吾
(コード: 2334、東証グロース)
問合わせ先 取締役 CFO 貞方 渉
(TEL. 050-5799-9400)

AIデータセンター事業に関する戦略的協業検討のための覚書締結についてのお知らせ

当社は、2026年1月30日付で、シンガポールを拠点とするAIインフラストラクチャソリューションのプロバイダーであり、NASDAQに上場するSuperX AI Technology Limited（シンガポール、CEO Dr. Chenhong Huang、以下「SuperX AI Technology社」）の完全子会社であるSuperX Industries株式会社（大阪市北区、代表取締役 Aiko Furukawa、以下「SuperX社」という）及び既存の戦略パートナーであるデジタルダイナミック株式会社（東京都港区、代表取締役根来実、以下「DD」という）ならびにWOODMAN株式会社（東京都千代田区、代表取締役小野慎二郎、以下「WOODMAN」という）の四社との間でAIデータセンター分野におけるモジュール型で迅速に構築可能なAIデータセンター（以下「モジュラーAI ファクトリー」という）に関する協業検討を目的とした戦略的提携に関する覚書（以下「本覚書」という）を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 背景と目的

当社は、2025年3月より本格的にAIデータセンター事業へ参入し、特に推論向けGPUサーバー事業を中心とする戦略的事業パートナーであるDD社と協業のもと、事業展開を推進しております。既に公表しているとおり、2026年3月期第2四半期累計では売上高15億円、通期では80億円を超える見通しとなっており、当該事業は急速に事業規模を拡大しております。

一方、国内においてはAIの普及が進展する中、推論処理を担うGPUサーバーの供給不足が深刻化しており、計算資源の制約が社会的課題となっています。当社は、地方分散型データセンターへの参画を通じて、こうした課題の解決に貢献すべく、AIデータセンター事業への投資およびGPUサーバーの拡充を進めております。

今後、AI関連サービスのさらなる普及に対応するためには、高性能な計算資源を短期間かつ柔軟に供給可能なインフラ整備が不可欠であり、モジュラーAI ファクトリーの重要性が高まっています。当社は、この市場環境の変化を事業拡大の好機と捉え、AIインフラ分野における新たな事業機会の創出および将来的な事業展開の拡大可能性を見据え、各社の強みを活かした協業体制の構築を進めてまいりました。

戦略的提携先であるSuperX社の親会社であるSuperX AI Technology社は、シンガポールを拠点にAIインフラストラクチャーのソリューションを提供するグローバル企業です。同社は、高性能AIサーバーや高電圧直流(HVDC)、高密度液冷ソリューション、AIクラウド等を組み合わせたAIデータセンター向け製品・サービスを展開し、設計・構築から運用・保守までを一貫して提供し、世界の大企業や研究機関への導入実績を有するなど、AIインフラ分野において一定の実績を有する企業です。SuperX社は、SuperX AI Technology社グループが推進するモジュラーAI ファクトリー構想において中核的な役割を担う事業会社であり、AIデータセンター向けの高性能GPUサーバー、電源・冷却を含む統合型インフラの設計・構築・運用に関する技術的知見を有しています。また、同社は日本国内における地域供給センターの設立計画を進める※など、日本市場におけるインフラ供給体制の強化にも具体的に取り組んでいます。

本覚書は、日本国内におけるモジュラー型AIデータセンターに関する事業機会について、各社がそれ

ぞれの知見を持ち寄り、事業性、技術要件および運営スキーム等を共同で検討するための枠組みを定めるものです。

※【ご参考 URL】2025 年 7 月 29 日付メディア記事「シンガポール発 SuperX、日本に初の AI サーバ供給拠点を設立へ 三重県津市に年間 1 万台体制、2025 年下半期の稼働開始予定」
<https://newscast.jp/news/6849594>

2. 本覚書の内容

本覚書は、以下に定める事項について、今後、四社間で協議を進めてまいります。なお、個別の実施事項は別途の個別契約を前提とし、確定次第、開示してまいります。

(1) 内容

- ① 日本国内におけるモジュラーAI ファクトリー型プロジェクトの事業性検討
- ② 技術要件、運営体制および役割分担に関する検討
- ③ 分散型 AI インフラ構築に向けた事業スキームの検討
- ④ その他、四者が合意する関連事項

(2) 各社の役割分担

- ① 当社（イオレ）

本プロジェクトに関する事業スキームおよび資金調達手法等について、財務・資本政策の観点からの検討および支援を行います。

- ② SuperX 社

AI データセンター向け GPU サーバーおよび AI インフラに関する技術的知見や供給体制に関する情報提供および検討協力をしています。

- ③ DD

日本国内における AI 計算資源提供事業者としての運営ノウハウや需要動向等に関する知見の提供を行います。

- ④ WOODMAN

国内における AI データセンター関連プロジェクトに関し、用地・ユーティリティ等に関する検討および関係各所との調整に向けた情報提供・協力をしています。

3. 相手先の概要

相手先①

(1) 名称	SuperX AI Industries 株式会社	
(2) 所在地	大阪市北区大深町 5 番 54 号南館 9 階	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 Aiko Furukawa	
(4) 事業内容	人工知能（AI）インフラソリューションの提供	
(5) 資本金	相手方の意向により非開示とさせていただきます。	
(6) 設立年月日	2025 年 9 月 19 日	
(7) 大株主及び持株比率	SuperX AI Technology Limited 100%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

※資本金及び業績については、先方希望により非開示とさせていただきます。

相手先②

(1) 名称	デジタルダイナミック株式会社		
(2) 所在地	東京都港区西新橋一丁目6番12号 アイオス虎ノ門404号室		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 根来実		
(4) 事業内容	• 最新GPUサーバーの調達・販売 • 特化型データセンターの設計・開発		
(5) 資本金	10百万円		
(6) 設立年月日	2024年4月18日		
(7) 大株主及び持株比率	株式会社ダイナミックソリューションズグループ 100%		
上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	親会社であるダイナミックソリューションズグループが第15回新株予約権を保有しております。	
	人的関係	親会社であるダイナミックソリューションズグループの代表取締役渡邊孝行が当社の取締役を兼任しております。	
	取引関係	GPUサーバーの仕入取引、及び販売代理店契約を締結しております。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	

※業績については、先方希望により非開示とさせていただきます。

相手先③

(1) 名称	WOODMAN 株式会社		
(2) 所在地	東京都千代田区麹町4-4-3 ピネックス麹町6F		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 小野慎二郎		
(4) 事業内容	サーバー・ストレージ導入支援／卸売事業 コンテナ型データセンター事業 大規模データセンター導入支援・コンサルティング事業		
(5) 資本金	300万円		
(6) 設立年月日	2017年10月6日		
(7) 大株主及び持株比率	経営陣 98%		
上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	

※業績については、先方希望により非開示とさせていただきます。

4. 日程

(1) 契約締結日	2026年1月30日
-----------	------------

5. 今後の見通し

本サービス提供による業績への影響について、2026年3月期への業績影響は軽微であると見込んでおりますが、中長期的に当社の企業価値向上に資するものと考えています。合理的な算定が可能となり、また業績に重要な影響を与えると判明した場合には、速やかに開示します。

以上